

授業科目名	解剖生理学Ⅰ		科目コード	263005	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグインストラクターコース	学 年	1 年
担当教員	島田夢香				
	実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ) 実務経験内容 愛玩動物看護師 動物病院にて7年間犬・猫の診療の補助、看護に従事 現場での経験をもとに、事例を出しながら授業を行う				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名	ナビ犬 POL ちゃんとやさしく学ぶ 犬と猫のからだのしくみ			
	著 者	POL&浅野妃美・浅野隆司			
	出版社	株式会社 EDUWARD Press			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習				
<p>&lt;授業の目的・目標&gt; 動物の体の構造や機能に関する知識の習得を目指す。 動物病院にて獣医師より患者についての説明を受けた際に理解できるまでが到達目標である。</p>					
<p>&lt;授業の概要・授業方針&gt; 筋・骨格系から消化器、循環器系など、それぞれの組織の構造と名称、主たる機能について学習する。解剖学的な用語は難しいものが多いが、獣医師からの説明に多くの解剖用語が出てきても理解できるようにする。また、2年次に学習する科目なども解剖生理学の知識が必要となるため、1年次に基礎的な知識を身につけさせる。</p>					
<p>&lt;成績基準・評価基準&gt; 前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が 80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p>					
<p>&lt;使用問題集・注意事項&gt;</p>					
<p>&lt;関連科目他&gt;</p>					

授業科目名		解剖生理学 I
回	授業内容	備考
1	オリエンテーション	
2	解剖生理学とは	
3	体をつくる臓器・パーツとは	
4	骨と各臓器の名称	
5	神経系とは	
6	中枢神経、末梢神経について	
7	代表的な脳、脊髄、神経の病気	
8	耳の構造	
9	代表的な耳の病気	
10	目の構造	
11	代表的な目の病気	
12	ホルモンについて	
13	ホルモンについて	
14	ホルモンについて	
15	前期まとめ	
16	前期復習	
17	リンパについて	
18	免疫について	
19	白血球について①	
20	白血球について②	
21	呼吸器系	
22	呼吸器系の各部位の名称	
23	代表的な呼吸器の病気	
24	循環器の働き	
25	循環器に各部位の名称	
26	心臓の解剖・血液の流れ	
27	毛細血管と弁の役割	
28	代表的な循環器の病気	
29	胎児循環について	
30	後期のまとめ	